

大学院教育学研究科

所 属 ・ 職 位	大学院教育学研究科（教職大学院）・特任教授	
氏 名	佐藤 由美子 (Sato Yumiko)	
取 得 学 位	教育学学士，大分大学，1983 年 3 月	
S D G s 目 標		

研 究 分 野	学校経営，NIE（新聞活用教育），国語科教育
研究キーワード	スクールリーダー，協働，NIE（新聞活用教育）

研 究 内 容	●学校経営におけるスクールリーダーの指導性に関する研究 公立中学校の他，児童自立支援施設や中高一貫教育校，県教委での勤務を経て幼稚園・小学校・中学校の管理職を7年間勤めた経験から，障害のある子どもや，貧困や虐待，ヤングケアラー等厳しい状況で生活している子どもたちの自立に向けた教育を，組織的に行う学校経営及びスクールリーダーのあり方を研究している。加えて，大量退職に伴う経験豊かな教職員の減少の中での人材育成や，多様な社会の課題に対応するための学校のあり方等全教職員が課題を共有した「協働」による学校経営はどうあればよいか，そこで発揮されるべき管理職の指導性とは何か，これから管理職になる教職員の育成するためのプログラム，中でも教職大学における実習のあり方についても検討している。 ●全校で組織的に取り組むNIE（新聞活用教育）に関する研究 学校教育には予測困難な時代に一人ひとりが持続可能な社会の担い手として生き抜く力の育成が求められており，子どもたちが様々な変化に積極的に向き合い，他者と協働して課題を解決する力を育成するために新聞は有効なツールである。膨大多様な情報を見極め新たな価値を再構築し，教科での学びを現実社会に繋げる教科横断的な実践を，管理職のリーダーシップのもと全校で組織的・系統的に取り組み，小中高と継続することが効果的である。新聞活用により教室での学びを社会とつなげ「自分ごと」としてとらえさせ，世の中の課題解決に向けた主体性を育てることが重要であると考えている。大分県の実践者が「個人実践の深化」と「系統的・組織的取組の推進」を図る場として2010年に「大分県NIE実践研究会」を立ち上げ九州各県の実践者と共同研究も行っている。	
---------	--	---

研 究 業 績 ・ アピールポイント	○大分市小学校長会学校経営部会編「学校における校長の指導性～全教職員が課題を共有した『協働』による学校経営」2015年 ○日本新聞協会発行「新聞を授業で使おう 小学校(これならできる! 新聞活用NIE入門ガイド)」2019年 ○大分県NIE実践研究会100回記念誌編集委員会編「大分県NIE実践研究会100回記念誌『大分県NIE実践研究会』の成立と歩み～持続可能な教育実践ネットワークの構築・全校で子どもも大人も楽しく取り組むNIE～組織的に取り組むための管理職の役割」2021年 ○日本新聞協会認定NIEアドバイザー	
-----------------------	---	---